

NX

問題解決シート



製造メーカー：Agfa HealthCare NV, Septestraat 27, B-2640 Mortsel - Belgium

Agfa の製品ならびに Agfa HealthCare 製品に関する詳細な情報については、www.agfa.com をご覧ください。

Agfa と Agfa rhombus は、Agfa-Gevaert N.V., Belgium または関係会社の商標です。NX と IMPAX は、Agfa HealthCare N.V., Belgium または関係会社の商標です。他のすべての商標は各所有者に帰属しており、侵害の意図無く、中立的な仕方で使用されます。

Agfa HealthCare N.V. は本書に含まれる情報の精度、完全性または利便性に関して明示的または黙示的に保証または表明するものではなく、任意の特別な目的に対する適用性を特定の表明するものではありません。場所によっては、製品とサービスは使用できない場合もあります。利用できるかどうかについて、地元の販売部の代表までお問い合わせください。Agfa HealthCare N.V. は提供情報の正確さには努めますが、誤字の責任を負いかねます。Agfa HealthCare N.V. は本書に記載される情報、機器、手段またはプロセスに起因する損害に対していかなる状況のもとでもその責任を負いません。Agfa HealthCare N.V. は本書の内容を事前に通告することなく変更する権利を保有します。

著作権 2011 Agfa HealthCare N.V.

著作権所有。

発行：Agfa HealthCare N.V.

B-2640 Mortsel - Belgium。

Agfa HealthCare N.V. 社からの書面による許可がない限り、この文書のどの部分も、いかなる形式でも複製、複写、編集あるいは転送することはできません。

1 NX での問題解決 5

画像が表示されない.....	6
画像の一部しか表示されない.....	7
画像が部分的にブラックボーダーで覆われる.....	8
NX が作動していません.....	9
ウィンドウ/レベル設定が完全に範囲外である.....	10
アーカイブボタンが無効である.....	11
アーカイブはドロップダウンリストで選択できない.....	12
間違った照射でカセットが識別される – スキャン前に検出される.....	13
カセットが間違った照射で識別され、画像が受信された.....	14
ユーザーの誤りのため、間違った患者データでカセットが識別される.....	15
DX-M デジタイザのカセットを識別する際のエラー、「有効な画像プレートゲインの校正ファイルが見つかりません」...	16

1 NX での問題解決

.....






このセクションでは、NX 作業中によく発生する問題に対する解決策を記載しています。
次のセクションが扱われます：

- 画像が表示されない
- 画像の一部しか表示されない
- 画像が部分的にブラックボーダーで覆われる
- NX が作動していません
- ウィンドウ / レベル設定が完全に範囲外である
- アーカイブボタンが無効である
- アーカイブはドロップダウンリストで選択できない
- 間違った照射でカセットが識別される – スキャン前に検出される
- カセットが間違った照射で識別され、画像が受信された
- ユーザーの誤りのため、間違った患者データでカセットが識別される
- DX-M デジタイザのカセットを識別する際のエラー、「有効な画像プレートゲインの校正ファイルが見つかりません」






画像が表示されない

詳細	画像を取得したが、検査で表示されない。
原因 1	NX ワークステーションへの照射後、DR 検知器が画像を直接送信できなかった。
簡単な解決策	<p>画像が DR 検知器に保存されていれば、NX の再起動後に使用可能になります。</p> <p>NX を再起動するには、Windows のスタートメニューに移動し、> Agfa > NX と選択して、Restart NX Completely (NX を完全に再起動) をクリックします。</p> <p>新規検査で、リカバリした画像が NX ワークステーションで利用可能になります。デフォルトの照射タイプで処理されています。</p>
原因 2	画像を識別した NX ワークステーションへデジタイザが画像を送信できず、画像が他の NX ワークステーションへ経路指定される。
簡単な解決策	<p>画像がデジタイザに保存されていれば、他の NX ワークステーションへ経路指定できます。デジタイザに画像の経路指定の詳細情報については、デジタイザのユーザーマニュアルを参照してください。</p> <p>経路指定後、新規検査で、リカバリした画像が NX ワークステーションで利用可能になります。デフォルトの照射タイプで処理されています。</p>

画像の一部しか表示されない

詳細	DR 画像が、NX によって自動的に検出された関心領域にトリミングされています。トリミングは、画像の非関連領域を取り除くことを意図しています。それにもかかわらず、トリミングによって有益な診断情報が見えなくなる場合が発生することがあります。この場合、ユーザーはブラックボーダーをオフにするか、手動で画質を再関心領域化する必要があります。
原因	自動関心領域の失敗。
簡単な解決策	この問題は次により解決されます： ?ブラックボーダーとトリミングをオフにする。 ?手動関心領域を適用する。 この問題を避けるため、「 関心領域で作業する 」(205 ページ)に記載の ROI 検出照射技術を使用します。
解決ステップ	<p>ブラックボーダーおよびトリミングをオンまたはオフにするには：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 画像を[画像概要]フレームで選択します。 2 [画像処理]ツールセクションの最初のドロップダウンリストで、次のアイコンを選択します。  <p>四角形関心領域を描くには：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 画像を[画像概要]フレームで選択します。 2 [画像処理]ツールセクションの最初のドロップダウンリストの、[編集]ウィンドウで、次のアイコンを選択します。  3 一度クリックして四角形の角を1つ定義します。 4 ポインタを動かします。 5 もう一度クリックして対角を定義します。 6 関心領域を表示するために、下のアイコンを選択します。  <p>多角形関心領域を描くには：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 [画像概要]フレームで画像を選択します。 2 [画像処理]ツールセクションの最初のドロップダウンリストの、[編集]ウィンドウで、次のアイコンを選択します。  3 クリックして始点を定義します。 4 ポインタを動かしてクリックし、各角を定義します。 5 多角形を閉じるには、始点をクリックします。 6 関心領域を表示するために、下のアイコンを選択します。 
参照先 ...	?「 ブラックボーダーとトリミング 」(210 ページ) ?「 手動での関心領域やトリミングの適用 」(210 ページ)






画像が部分的にブラックボーダーで覆われる

詳細	自動関心領域処理中、通常 NX はブラックボーダーを画像に適用します。これらのブラックボーダーは、画像の非関連領域をマスクすることを意図しています。ですが、ブラックボーダーが有用な診断情報をマスクする可能性もあります。この場合、ユーザーはブラックボーダーを非表示にするか、画質を再関心領域化できます。
原因	自動関心領域の失敗。
簡単な解決策	<p>この問題は次により解決されます：</p> <ul style="list-style-type: none"> •ブラックボーダーを非表示にする。 •手動関心領域を適用する。 <p>この問題を避けるため、「関心領域で作業する」（205 ページ）に記載の ROI 検出照射技術を使用します。</p>
解決ステップ	<p>ブラックボーダーを表示 / 非表示とするには：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 【検査】 ウィンドウの 画像詳細 フレームには幾つかのボタンがあり、画像上で基本操作を実行できます。このボタンにより、関心領域で失敗した場合のブラックボーダーを消去できます。ブラックボーダーを表示 / 非表示するためボタンをクリックします。  <p>四角形関心領域を描くには：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 画像概要 フレームで画像を選択します。 2 【編集】 ウィンドウでは、画像処理 ツールセクションの最初のドロップダウン・リストから、下のアイコンを選択します。  <ol style="list-style-type: none"> 3 一度クリックして四角形の角を1つ定義します。 4 ポインタを動かします。 5 もう一度クリックして対角を定義します。 6 関心領域を表示するために、下のアイコンを選択します。  <p>多角形関心領域を描くには：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 画像概要 フレームで画像を選択します。 2 【編集】 ウィンドウでは、画像処理 ツールセクションの最初のドロップダウン・リストから、下のアイコンを選択します。  <ol style="list-style-type: none"> 3 クリックして始点を定義します。 4 ポインタを動かしてクリックし、各角を定義します。 5 多角形を閉じるには、始点をクリックします。 6 関心領域を表示するために、下のアイコンを選択します。 
参照先 ...	<ul style="list-style-type: none"> •「画像の品質管理を実行する」 (140 ページ) •「手動での関心領域やトリミングの適用」 (210 ページ)

NX が作動していません

詳細	NX がアクティブでなく、作動しません。
原因	
簡単な解決策	最初に NX が実行中かどうか Windows タスクバーを確認します。 あるいは [スタートメニュー] から、NX を起動します。 [スタートメニュー] からシステム再起動を選択することもできます。
解決ステップ	タスクバーに NX があるなら、タスクバーの NX をクリックします。 NX アプリケーションが現れます。 代替ソリューション： 1 Windows [スタートメニュー] の NX スタートアイコン、あるいはデスクトップのショートカットアイコンをクリックします。
参照先 ...	<ul style="list-style-type: none">•「NX を起動する」(44 ページ)•「NX を停止する」(51 ページ)

ウィンドウ / レベル設定が完全に範囲外である

詳細	画像の自動処理中、NX は自動関心領域パラメータを計算し、これらのパラメータ（ウィンドウ / レベル設定等）を画像に適用します。特殊な状況で、これらの自動関心領域パラメータが間違っている場合があります。
原因	<ul style="list-style-type: none"> • 自動関心領域が、関心領域の検出に失敗した。 • 関心領域が非常に小さい。
簡単な解決策	<ul style="list-style-type: none"> • MUSICA 画像処理を使用している場合：手動関心領域を適用する • MUSICA2 画像処理を使用している場合：全体のコントラストおよび輝度を調整する（ウィンドウ / レベル）
MUSICA 画像処理の解決ステップ	<p>手動で四角形関心領域 (MUSICA 画像処理用) を描くには：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 【画像概要】 フレームで画像を選択します。 2 【編集】 ウィンドウでは、画像処理 ツールセクションの最初のドロップダウン・リストから、下のアイコンを選択します。  3 一度クリックして四角形の角を 1 つ定義します。 4 ポインタを動かします。 5 もう一度クリックして対角を定義します。 6 関心領域を表示するために、下のアイコンを選択します。  <p>手動で多角形関心領域 (MUSICA 画像処理用) を描くには：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 【画像概要】 フレームで画像を選択します。 2 【編集】 ウィンドウでは、画像処理 ツールセクションの最初のドロップダウン・リストから、下のアイコンを選択します。  3 クリックして始点を定義します。 4 ポインタを動かしてクリックし、各角を定義します。 5 多角形を閉じるには、始点をクリックします。 6 関心領域を表示するために、下のアイコンを選択します。 
MUSICA2 画像処理の解決ステップ	<p>グローバルコントラストおよび輝度 (MUSICA2 画像処理用) を調整するには：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 【画像概要】 フレームで画像を選択します。 2 次のアイコンを選択します。  3 マウスを使用してグローバルコントラストおよび輝度を調整します。 4 望ましいコントラストと輝度に達したら、画像フレームでクリックします。
参照先 ...	<ul style="list-style-type: none"> • 「手動での関心領域やトリミングの適用」 (210 ページ) • 「画像全体のコントラストおよび輝度を変更する (ウィンドウ / レベル)」 (213 ページ)

アーカイブボタンが無効である

詳細	<p>ユーザーが品質管理タスクを行い、NX ステーション上で検査ファイルの画像を点検した後、画像は通常アーカイブ（またはワークフローに応じて、プリンター）に送信されます。画像を一度だけアーカイブできることをユーザーは知っているはずですが、よって画像がアーカイブされる時、NX ステーションで参照されますが、再びアーカイブはできません（[アーカイブ] ボタンは無効になります）。それでもユーザーが画像を 2 回目にアーカイブすることを望む場合、新規画像として保存する必要があります。</p> <p>画像が拒否されたので、アーカイブボタンも無効にすることができます。この場合、アーカイブするなら画像拒否を取り消しをする必要があります。</p>
原因	画像は既にアーカイブされています。画像は拒否されています。
簡単な解決策	画像を新規画像として保存する
解決ステップ	<p>処理した画像を新規画像として保存するため：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 [編集] ウィンドウへ移動します。 2 画像概要 フレームで画像を選択します。 3 画像を処理します。 4 編集 ウィンドウで、[新規として保存] をクリックします。 処理済み画像が検査に追加され、画像概要 フレームに表示されます。 <p>画像を非取り消しするには：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 画像概要 フレームで画像を選択します。 画像が画像詳細 フレームに表示されます。 2 [画像の拒否の取り消し] をクリックします。
参照先 ...	<ul style="list-style-type: none"> •「処理した画像を新規画像として保存する」(167 ページ) •「画像を拒否する / 拒否の取り消しをする」(142 ページ)

アーカイブはドロップダウンリストで選択できない

詳細	ユーザーが品質管理タスクを行い、NX ステーション上で検査ファイルの画像を点検した後、画像は通常アーカイブ（またはワークフローに応じて、プリンター）に送信されます。画像を一度だけアーカイブできることをユーザーは知っているはずですが、よって画像がアーカイブされる時、NX ステーションで参照されますが、再びアーカイブはできません（アーカイブのリストから [アーカイブ] をもう選択できません）。それでもユーザーが画像を 2 回目にアーカイブすることを望む場合、新規画像として保存する必要があります。
原因	この画像はアーカイブにすでにアーカイブされています。
簡単な解決策	画像を新規画像として保存する。
解決ステップ	<p>処理した画像を新規画像として保存するため：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 [編集] ウィンドウへ移動します。 2 画像概要 フレームで画像を選択します。 3 画像を処理します。 4 編集 ウィンドウで、[新規として保存] をクリックします。 処理済み画像が検査に追加され、画像概要 フレームに表示されます。
参照先 ...	「処理した画像を新規画像として保存する」 (167 ページ)

間違っただ照射でカセットが識別される – スキャン グ前に検出される

詳細	通常は、ユーザーは NX ステーションで照射を選択し、ID Tablet に照射でカセットを挿入し、次に [ID] ボタンを押して照射を識別します。ユーザーが最初に NX で間違っただ照射を選択して、間違っただ照射でこのカセットを識別することはありえると思われます。新規の識別を行って、ユーザーはこの誤りを解決できます。
原因	ユーザーの誤り。
簡単な解決策	正しい照射で再識別する。
解決ステップ	正しい照射でカセットを再識別するには： 1 ID Tablet にカセットを再挿入します。 2 検査概要 フレームで、正しいサムネイルを選択します。 3 [検査] ウィンドウの ID をクリックします。
参照先 ...	「カセットを識別する」 (70 ページ)

カセットが間違った照射で識別され、画像が受信された

詳細	通常は、ユーザーは NX ステーションで照射を選択し、ID Tablet に照射でカセットを挿入し、次に [ID] ボタンを押して実際に照射を識別します。ユーザーが最初に NX で間違った照射を選択して、間違ったカセットでこの照射を識別することはありえると思われます。画像がすでにデジタル化されて、NX で表示される時にユーザーがこの誤りを発見した場合、照射のデータを編集してユーザーはこの誤りを解決できます（カセットを再識別または再デジタル化せずに）。
原因	ユーザーの誤り。
簡単な解決策	照射データを編集します。
解決ステップ	<p>照射データを編集するには：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 [検査] ウィンドウへ移動します。 2 編集する画像が選択されていることを確認します。 3 画像詳細 フレームの [編集] をクリックします。 画像詳細編集 フレームが上部に開きます。 4 照射タイプ を変更するために、検査 / 照射名を示すボタン をクリックしてください。 これにより、新規の検査 / 照射タイプを選択できる [画像追加] ダイアログが表示されます。 照射タイプ選択後、このダイアログは自動的に閉じます。 5 [OK] をクリックして、変更を適用して、編集ダイアログを閉じます。
参照先 ...	「画像の受信後に正しい検査を選択する」 (145 ページ)

ユーザーの誤りのため、間違っただ患者データでカセットが識別される

詳細	画像が間違っただ患者データと関連してNX上で表示されることは起こりえます。これは、カセットを間違っただ照射データで識別することにより起こりえます。この場合、最も効率的な解決策は、1つの検査から別の検査（間違いから正しい患者へ）へ画像を転送することです。
原因	ユーザーの誤り。
簡単な解決策	正しい患者へ画像を転送します。
解決ステップ	<p>正しい患者へ画像を転送するには：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 【ワークリスト】 ウィンドウで、画像を転送することを望む検査を選択します。画像が画像概要 フレームに表示されます。 2 【画像転送】 をクリックします。 画像転送ウィザードが開きます。 3 画像概要 フレームで、転送を望む画像を選択します。 画像がウィザードに表示されます。 4 継続 をクリックします。 5 【ワークリスト】 ウィンドウで、画像が転送される検査を選択します。 患者データがウィザードに表示されます。 6 【継続】 をクリックします。 転送概要が表示され、全情報が正しいかを確認します。 7 【完了】 をクリックします。 画像が転送されます。
参照先 ...	「1つの検査から別の検査へ画像を転送する」 (110 ページ)

DX-M デジタイザのカセットを識別する際のエラー、「有効な画像プレートゲインの校正ファイルが見つかりません」

詳細	カセットを識別する際に、このエラーが表示されます：「エラー、有効な画像プレートゲインの校正ファイルが見つかりません」。カセットを使できません。
原因	NX ワークステーションで IP (画像プレート) ゲインの校正ファイルを使用できません。
解決策 1:IP (画像プレート) ゲインの校正 CD を使用できる場合	カセットと共に納品される「IP Gain Calibration」(IP (画像プレート) ゲインの校正) というラベルの CD を用意して、NX ワークステーションに IP (画像プレート) ゲイン校正ファイルをロードします。
解決ステップ	<p>ゲインの校正ファイルをインストールするには：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 CD を NX ワークステーションに挿入します。 2 CD にブラウズします。 3 アプリケーション 'install.exe' を実行します。 4 画面に表示される説明に従ってください。
解決策 2:IP (画像プレート) ゲインの校正 CD を使用できない場合	サービスセンターにお問い合わせください。

印刷地：ベルギー

発行：Agfa HealthCare N.V., B-2640 Mortsel-Belgium

4425 J JA 20110315

AGFA 
HealthCare